

チャプレンだより 13

2025 年 4 月号

チャプレン 主教アンデレ大畑喜道

今月の聖句

ハレルヤ

主はよみがえられた

ヨハネによる福音書 15章5節

一つずつ進級してゆり組さんはたんぽぽ組、たんぽぽ組はちゅーりっぷ組、そしてすみれ組さんはゆり組さんになりました。今年も一年、神様のお恵みをいっぱいいただいて素敵な毎日を過ごし、成長できますようにお祈りし、見守っています。先生方も新しいこどもを迎える準備を一生懸命して待っています。今年はどうな楽しいことが起こるのでしょうかね。

さて今月は 4 月 20 日に教会では最も大切なお祭りの日です。復活日、イースターです。救い主イエスが生まれた年を紀元 1 年としています。ですからAD、BCという言い方をします。これはキリスト以前、キリスト以後というラテン語と英語の訳です。しかし実は計算間違いがあつて、紀元前 4 年から 7 年くらいではなかつたかというのが定説です。十字架に架かつたのは、ユダヤ教の大切なお祭りの過越の祭であつたので、その日付に影響を受けます。ユダヤ暦のニサンの月の 15 日。ニサンの月は春分を含む 1 ケ月とされているので、西方教会ではグレゴリオ暦の春分の日直後の満月の次の日曜日とすると決められています。東方教会は使う暦がユリウス暦なので東西で日時が異

なることがあります。過越の祭について少し説明します。昔、イスラエルの人々は飢饉によってエジプトに逃げました。やがてエジプトで奴隷として扱われたので人々は神に解放を祈ります。神は祈りを聞いてモーセは派遣されて、エジプトのパロと交渉します。(出エジプト記 5 章以下)パロは奴隷解放をさせません。九回に回ってエジプトに災いが及びます。そのたびに解放を約束しますが反故にします。最後の災いが初子の災い。エジプトの初子、人であれ家畜であれ全ての初めての子どもが全て死ぬと。しかし家の鴨居と柱に小羊の血を塗った家は災いが通り過ぎると言うことでした。イスラエルの人々は皆、小羊を犠牲にして血を塗り、助かります。この災いでパロは自国の奴隷であつたイスラエル人を解放します。しかし逃げ出したイスラエルの人々はシナイ半島を 40 年にわたって彷徨うこととなります。その後、モーセの後を継いだヨシュアに導かれて今のパレスチナに入るようになります。神はイスラエルの人々を救ってくださった。災いが通り過ぎたということで、過越の祭となつたのです。これはキリスト教の大きな影響を与えました。わたしたちはイエスの犠牲によって救われた。救われるために小羊の血が必要だったように、イエスの血の苦しみが必要だった。イエスは犠牲の小羊と呼ばれるようになります。イエスは 30 歳の頃に家を出て、神の国の到来が間近い

ことを告げ、人々に方向転換して、神を本当に信じて、神の求める国を作ろう、この世界で愛に根ざした生き方を、神と人々を真剣に愛する事を勧めました。しかしユダヤ教の上層部にとって危険な思想だ、自分たちの地位が脅かされる。ローマも自分たちの国が滅ぼされてはいけないと、イエスの抹殺を計画します。これらすべては神の計画の中でした。神はわたしたちが本来、償わなければならない神への不忠実なこと、間違った歩み、(これを罪と言います)の代償としてイエスが十字架で身代わりにさせます。丁度ユダヤ教の過越祭の最中でした。イエスはわたしたちの罪を背負って十字架に死にました。それで終わりではなかったのです。三日後に驚くべき事が起こりました。女性の弟子たちがイエスの死を悼んで朝早く墓に急ぎました。確かに大きな石で蓋がされていた墓が空いていたのです。中を見てみると、死んだイエスを包んでいた布だけが畳んでおかれています。天使が近づいて女性に言います。「イエスは復活した。ガリラヤに行きなさい。そこでイエスに出会える。」弟子たちはイエスがかつて教えを伝えていたガリラヤ地方に戻ります。神はイエスを復活させました。イエスは死の支配から解放されて立ち上がり、弟子たちと共に歩み出すのです。人々は思います。死んだ人がよみがえるはずがない。死んだら終わりだ。わたしたちも同じ反応でしょう。弟子たちは今までは臆病で、この世の事しか考えない、気の小さい人々でした。しかし復活したイエスと出会った彼らは、力強く、誰かが邪魔しても、たとえそのこ

とで死を宣告されてもイエスの教えを伝え始めたのです。確かに自分と一緒にいてくださる。やがて神の国に戻るときも、神は死の世界に自分たちと閉じ込めることなく、神の懐に抱かれて、安らかに永遠の命を生きることができると確信したのです。神の思いを自分の思いとしてこの世界で生きよう。出会う人々を本当に大切にして、誰もが喜びに満たされて、踏みつけにされたり、排除されることがないような社会を建設していこうと語り始め、実行しました。そのことは今日の教会に受け継いでいます。イエスが死を打ち破ってくださった。そしていつも共にいてくださる。寂しいこともない、いつも喜びに満たされて生きることができると信じています。イエスの復活を祝う日は教会にとって大変に重要な祝日となりました。毎週の日曜日にも復活の日を祝う様になりました。すべては復活の希望から始まります。

復活日の予定

コスモスの会

4月19日(土) 10時～ 礼拝と卵作り

復活教会 復活日礼拝

4月20日(日)

10時30分～ 聖餐式 祝会

どなたも参加できます

幼稚園復活日礼拝

4月21日(月)

10時15分～



Lord, let your face shine on us